公社等外郭団体改革進行管理表

公　社　名	公益財団法人高知県スポーツ協会	主管課名	スポーツ課
役　割	県民の体力向上や競技力向上に資する競技団体への助成、 国民スポーツ大会への選手団の派遣、スポーツ少年団の育成等の事業の実施		
改革の方向性	・健全経営の確保 ・スポーツ振興財団との役割分担の継続	主な事業内容	・国民スポーツ大会に関すること。 ・スポーツ活動の振興及び顕彰に関すること。 ・スポーツ指導者の育成に関すること。 ・青少年スポーツの育成に関すること。 ・生涯スポーツの振興に関すること。 ・その他この法人の目的を達成するために必要な事業。

令和7年度までの取組実績	1. 国民スポーツ大会事業 　国民スポーツ大会への監督・選手の派遣や、県予選会、四国ブロック大会の開催、派遣を行った。 　令和７年度の第79回国民スポーツ大会では、総合成績46位であったが、入賞競技は14競技と、過去４大会では最高の競技成績を残すことができた。 2. 選手強化育成事業 　競技団体が国民スポーツ大会を中心に競技別全国大会において優秀な成績を残せるよう、全高知チームを中心に、練習会や強化合宿、県外遠征等を実施した。 　令和７年度は、国民スポーツ大会をはじめ、各種全国大会等での上位入賞の成績を収める個人・チームが増加し、次年度以降更なる競技団体の取組が期待できる。 3. 生涯スポーツ振興事業 　県民一人ひとりが身近で気軽に安心して活動できるよう、スポーツ活動の普及支援を行い、県民の生涯にわたるスポーツの振興に努めた。 ・団体育成事業 　令和７年度は、18団体に対し、組織整備の充実を図ることを目的に支援を行った。 ・スポーツ安全事業 　スポーツ活動等における安全確保や傷害等について、市町村の広報誌等を活用し広報活動を行った。 ・青少年スポーツ育成事業 　青少年スポーツの普及・育成を図るため、スポーツ交流大会や指導者養成及び研修などを実施し、スポーツ少年団の活動の場の提供や、普及・啓発活動を実施した。 （スポーツ少年大会事業、スポーツ少年団指導者育成事業、スポーツ少年団リーダー育成事業等） ・地域スポーツ事業 　県民一人ひとりがスポーツに親しむことのできるスポーツ参加拡大に向けて、総合型地域スポーツクラブを中心に、より幅広い年代の方々にスポーツ活動の機会を提供できるよう各地域におけるスポーツ振興に努めた。 4. スポーツ指導者育成事業 　適切なスポーツ指導の能力を有する人材の育成・養成する「指導者養成講習会」及び公認スポーツ指導員の資格を更新するための「指導者研修会」を実施した。 　○指導者養成講習会 　　実施団体：２団体、参加人数計：46名 　○指導者研修会 　　開催回数：３回、参加人数計：223名 5. 顕彰事業 　体育・スポーツの推進に顕著な功績があった個人・団体の顕彰を行った。（164個人・団体）	経営課題等	（１）県との効果的な連携体制の構築 ・競技力の強化 （全高知チーム、スポーツ科学センター等） ・地域スポーツの推進 （総合型地域スポーツクラブ等） （２）経営の安定化に向けた取組の改善 （３）ガバナンスコードの遵守 ・令和2年度から、スポーツ庁に求められているスポーツ団体ガバナンスコードの遵守 ・県内スポーツの統括団体機能の維持のため組織運営の強化や財務の健全性の確保等

【令和8年度以降の取組方針】

1　ガバナンスコードの遵守
　組織運営の確保などスポーツ庁の策定した「スポーツ団体ガバナンスコード」の遵守に努める。

2　国民スポーツ大会事業
　国民スポーツ大会の四国ブロック大会や本大会に監督・選手を派遣し、競技力の向上を図り、選手の活躍により県民の希望と活力に満ちた生活に寄与することを目的として実施する。

3　選手育成強化事業
　国民スポーツ大会をはじめ、各種全国大会、国際大会で活躍できる選手・チームの育成・強化に取り組む。また、各競技団体の進捗管理等に基づき、組織として計画的かつ継続的に実施する選手育成強化事業等に支援を行い、競技力の向上と昨年度の成績を上回る国民スポーツ大会での入賞増と、総合成績40位前半を目指す。

4　生涯スポーツ振興事業
　生涯スポーツの推進、青少年スポーツの育成など、広くスポーツの普及支援を行うことにより、県民の生涯にわたるスポーツ活動の推進を図る。

5　スポーツ指導者育成事業
　スポーツ文化を豊かに、ライフステージに応じた多様なスポーツ活動を推進することのできるスポーツ指導者を育成する。

6　顕彰事業
　体育・スポーツの振興に顕著な功績のあった個人や団体を表彰し、その栄誉をたたえるとともにスポーツの振興を図る。